

令和7年 6月20日(金)

あさひの日だまり

NO.10

辰野町立辰野東小学校 文責 片桐

～プールの授業が始まりました～

思いっきりプールを楽しんで欲しいです

今週の火曜日にプール開きがありました。いよいよプールシーズン到来です。「校長先生今日はプールがあるんだよ。楽しみだな～」という子どもたちの声が聞こえてきそうです。「プールがあるから学校へ行くのを嫌がっているんです」という親御さんのお話もお聞きします。

プールをとにかく楽しんで欲しいそしてプールにいい印象を持ってほしいというのが水泳に対する私の一番の願いです。「息継ぎをできるようになりたいです」「去年よりも速く泳げるようになりたいです」そういった子どもたちの願いの発表がありました。子どもたちが楽しみながら挑戦して欲しいと強く願います。そんな願いを込めて下のよう内容でプール開きでお話をしました。

スポーツっていいな～って思っているんです。

私は野球が大好きなので、ナイターソフトのチームに入って若い人たちと一緒にソフトボールをしています。若い人たちが中心なので先生は代打で、たまに塁へ出られると代走になります。でもチームメイトとはとっても仲良しで、何か困ったことがあると相談するし、一緒に楽しいことを考えてみたりしています。だからこのチームで知り合ったチームメイトはとっても大切な仲間なんです。

うちの親戚の80歳を超えたおじいさんは、テニスサークルに入って仲間と楽しく毎日テニスをしています。80歳を超えて大切な仲間がいるなんてなんてすばらしいことなんだろうと思うんですよね。

私の友だちは、50歳くらいの時からマラソンを始めました。全国各地で開かれるマラソン大会に旅行を兼ねて出かけて行って人生をとっても楽しんでます。そんな人生もとても豊かですよ。

私の母は、もう90歳に近いですが、友だちと誘い合わせて近くのスイミングへ出かけることをとても楽しみにしていました。スイミングでは水中ウォーキングが中心。泳ぎはゆっくりりゆっくり楽しんでいました。今は、車に乗れないのでスイミングへ出かけられませんが、その時できたお友だちとは今もとても仲良くしています。

スポーツには二つの意味で良さがあると思います。一つは健康のためであったり技術を伸ばしたりできるということです。もう一つはスポーツを通して大切な仲間ができたことということです。歳をとっても大切な仲間がいるということはとても素敵なことです。先生この歳になってそのことをすごく感じています。



小プールは1年生が使い初め



大プールは5年生が使い初め

皆さんにお願いです。プールの授業を思いっきり楽しんで欲しいと思っています。プールを嫌いにならないで欲しいなと思っています。そして、年をとってもプールへ誘われたらぜひ思い切ってプールへ足を運んで楽しんで欲しいと思います。思い切ってそういうところへ出かけると、何歳になっても大切な友達に巡り合えます。それは一生のかけがえのない宝物です。そして人生で最も大切な健康な体を手に入れることもできます。

今年のプールの授業が、皆さんの大切な宝物に結びついていってくれることを校長先生は強く願っています。

～給食週間でした～



お箸指導がありました

「最初、上手に使えなかった子が最後はくできました！ できました！>って喜んで話していたんです。本当に嬉しくなりました。」とお箸指導を終えられたボランティアの方が会議室でお話をしてくれました。私も「よかったな～」と嬉しくなりました。

お箸の使い方は一生ついて回ります。一緒に誰かと食事をしていて目の前でその人がお箸を上手に使っているととても美しく見えます。いつかどこかでそういった美しい箸の使い方を身につけられたら素晴らしいことです。

先のボランティアの方が「その子は最後は上手に使えるようになったんですよ」とお話ししてくれました。私は思わず「本当にありがとうございます。その子にとっては一生の宝を手に入れました。

その子にとっては今日が本当に貴重な日になりました」とお伝えしました。きっと家に帰って食事の時間に家族に自慢したに違いありません。「すごい！たいしたもんだね」とほめてもらえたに違いありません。

給食週間には毎年お箸指導をしていただいています。さっきのような場面を目にすると、大切なことはいつの時代になっても普遍的に大切なんだよなど実感します。ボランティアの皆さん本当にありがとうございました。

～本格的にクラブが始まりました～

指導者の皆様に心から感謝です

19日（木）は2回目のクラブ活動でした。1回目は計画を立てたり指導者の方のお話を聴いたりなどで時間のほとんどが終わっていたと思うので、実質この日が活動のスタートでした。各活動場所を見させていただきました。それぞれの活動場所で子どもたちが真剣な姿で打ち込んでいたり本当に楽しそうにしたりしている姿を目にしました。そんな自分のやりたいことに「挑戦」している姿に私も心を動かされとても嬉しくなりました。

指導者の方の言葉を耳にする場面がいくつかありましたが、その一言ひとことが専門的で、専門家の方からレベルの高いことを教えてもらうというクラブの趣旨が実現していることも本当に嬉しく感じました。講師の皆さんにはお仕事の都合をつけていただいています。手当としての支給もございません。本当に子どもたちのためにボランティアでお願いしています。そのおかげで子どもたちは大変貴重な経験をさせていただいています。感謝しかありません。

当日の放課後、昇降口でポケットから作ったばかりのアクセサリーを2人の女子児童が大切そうに取り出して見せてくれました。キラキラしていてとても素敵なアクセサリーでした。「きれい！と思わず声が出ました。

帰り際の講師の方が「先生今日は〇〇袋（申し訳ありません名前を忘れてしまいました）を作ったんですよ」と声をかけて下さいました。ちょうどその時その講座の児童が通ったようで「先生に見せてあげな」と声がけして下さいました。「見せてもらっていいかな？」とたずねるとカバンを下ろしてカバンの中から大切そうに袋を取り出して見せてくれました。「へーこんなに素敵なものを作ったんだ」と思わず声が出ました。袋の表はおにぎりのイラストでした。この袋におにぎりとおかずを入れてお出かけができそうです。その子の表情は本当ににこやかでちょっと誇らしげでした。その袋をたたんで返す時その袋がとても大切なものに感じました。

